

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会主催
令和4年度 第2回兵庫県院内がん登録実務者ミーティング議事録

日時：令和5年2月3日（金）14：00～15：44

場所：ZOOM 会議

出席者：40 施設 75 名

当番病院（司会）：兵庫医科大学病院 川上

1. 開会の挨拶

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会副部会長 安東（姫路赤十字病院）

2. 兵庫県がん診療連携協議会ホームページ公表案について

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会副部会長 山口（兵庫県立がんセンター）

3. 全国がん登録の予後情報還元の申請方法、必要な整備・規程について

（兵庫県保健医療部感染症等対策室疾病対策課 がん・難病対策班 野津担当係長）

- ・提供については、令和4年現在で、5病院に情報提供をしている
- ・全国がん登録情報の提供マニュアル第3版が令和4年8月に出たので、参照して頂きたい
- ・入退出管理簿は設置するだけでなく、定期的な実際と差異がないかの確認をして頂きたい
- ・シュレッダーは、国際基準「ISO/IEC21964-2」で定められたセキュリティレベル6のシュレッダーが国立がん研究センターより推奨されている
- ・情報を保管するキャビネット等の鍵の取扱いにも注意し、セキュリティを高めて頂きたい

4. 院内がん登録運用マニュアルに沿った運用体制などの状況調査の結果報告

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会副部会長 山口（兵庫県立がんセンター）

5. グループワーク

圏域ごとに4つのグループに分かれ、事前アンケートの結果をふまえた各施設の状況説明や課題についての検討をした

6. グループワークの発表と全体討議（質疑応答含む）

(1)各グループワークの発表があった

- ・1グループ（発表者：近畿中央病院）
次にあげる内容について各施設どのような状態かを意見交換した
入退室管理 規程をホームページに公表すること 物理的措置
- ・2グループ（発表者：神戸市立医療センター中央市民病院）
困っている点を自由に話す組織、委員会等がない がん登録は地道な作業で、認知度が低い
データ活用 セキュリティ
- ・3グループ（発表者：県立がんセンター）
実務者の雇用体制 一人体制などのマンパワー不足により色々な整備を整えるのが難しい
- ・4グループ（発表者：姫路医療センター）
「がん登録委員会」の設置がない施設があり、どう作ったらいいか
予後情報の還元をうけるための設備は整っているか、独立した空間など設備は整っているか
現状は機器共有をしているため、どのようにしていくかが今後の課題

(2)全体討議

情報還元を受けた施設より、承認に関する実務的な流れについての意見があった

7. 閉会の挨拶

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会副部会長 山口（兵庫県立がんセンター）より